

第五回講座：豊和鍛工流・ISO勉強会

毎年の『宿題』を 決めよう！

年度方針と目標達成のルール
(IMSマニュアル 6.2)

豊和鍛工株式会社
IMS事務局

リスクを見つけたら、次は「行動」だ



第4回：リスクと機会

前回の講座（第4回）では、私たちの仕事に潜む「リスク（困ること）」と「機会（チャンス）」を見つけ出しました。

しかし、見つけただけでは会社は良くなりません。それを解決し、実現するために「宿題（具体的な行動計画）」を自分たちに出す必要があります。



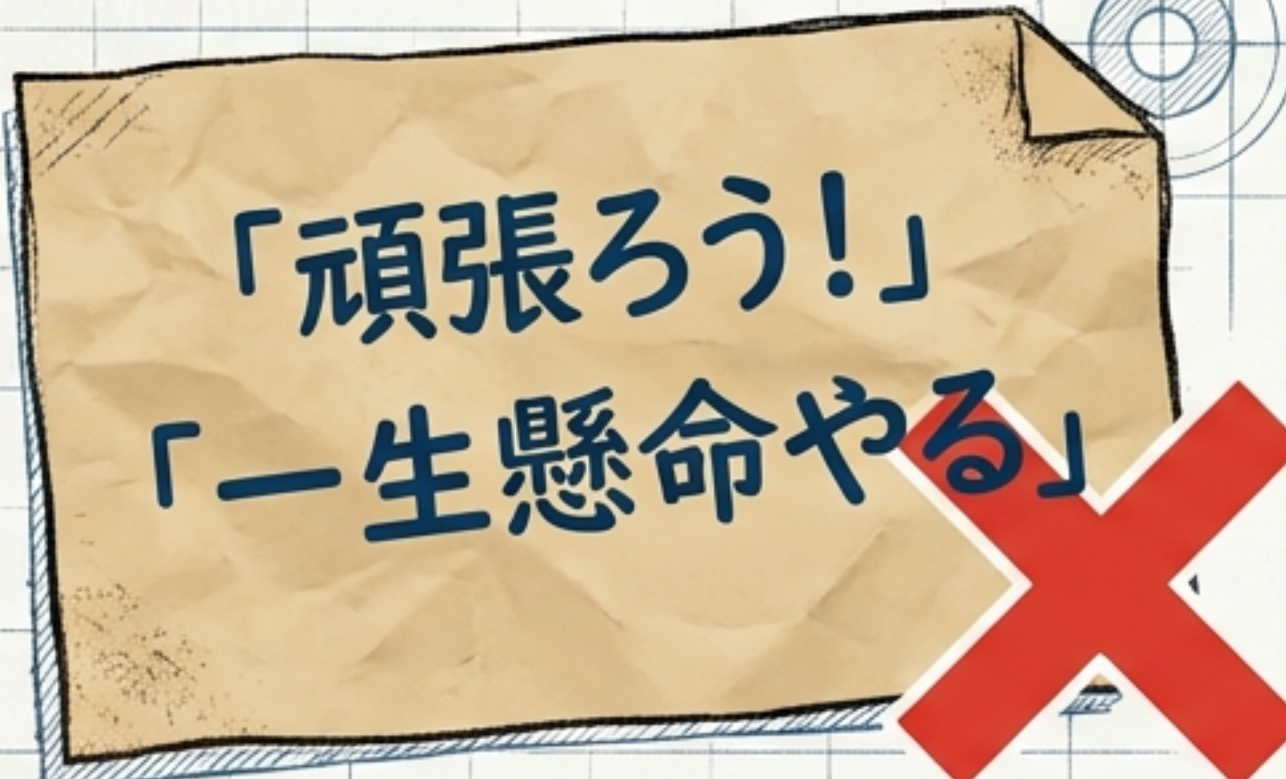
第5回：年度方針

「心配事」を「目標」に変えるのが、ISOの計画づくりです。

「年度方針」とは、会社が出す毎年の『宿題』

精神論ではなく、具体的な「宿題」として設定します。

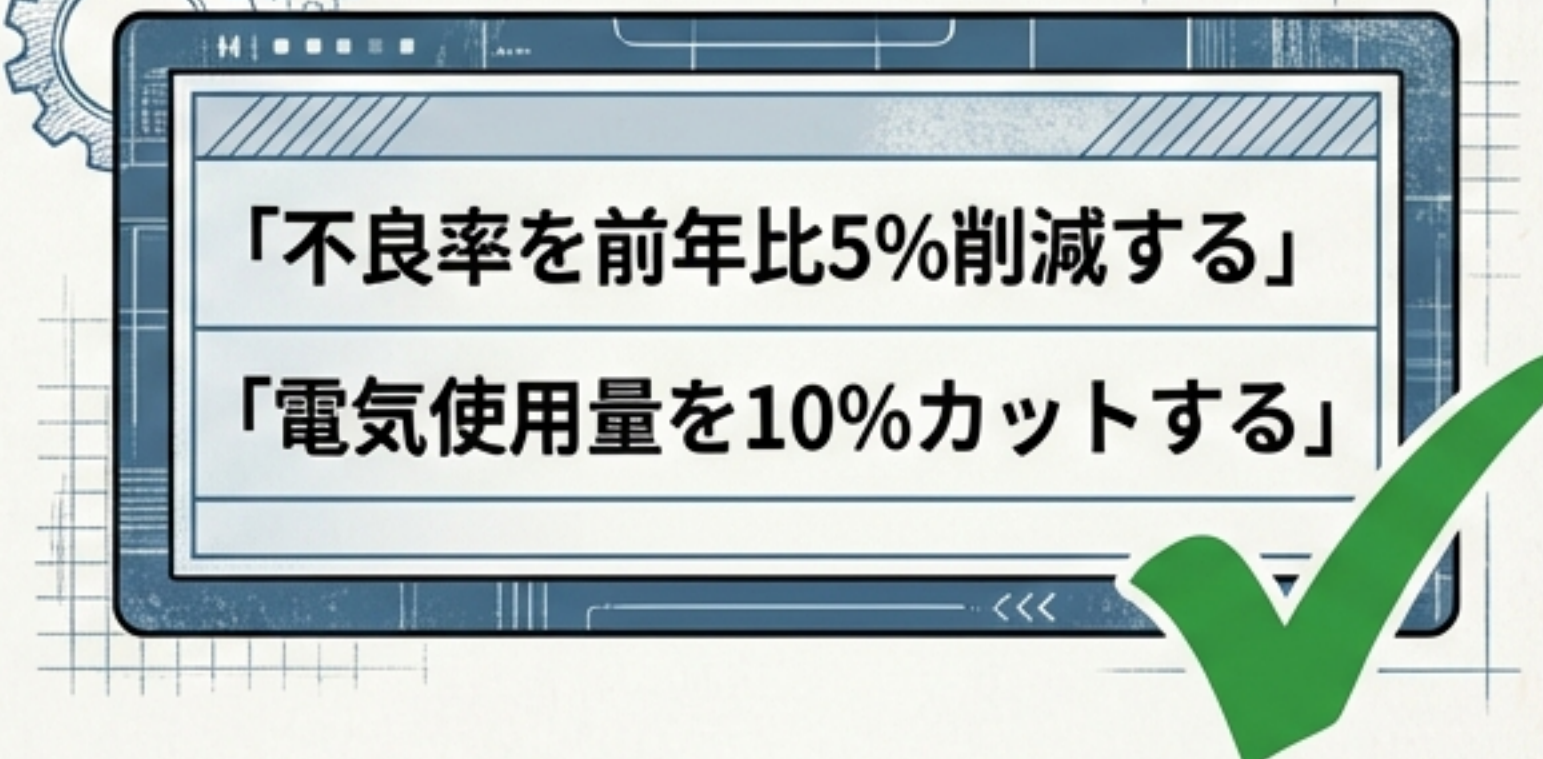
Bad Example



「頑張ろう！」
「一生懸命やる」

測定できないスローガン

Good Example



「不良率を前年比5%削減する」
「電気使用量を10%カットする」

IMSマニュアル 6.2.1に基づく目標

IMSマニュアルでは、単なるスローガンではなく、達成できたかがハッキリ分かる「測定可能な目標」を立てることがルールです。これが私たちが1年間かけて取り組む『宿題』となります。

宿題を出すための「7つのルール」

マニュアル6.2.1項で決められた、正しい目標の立て方



- IMS方針と整合している**
会社の看板・方向性とズレていない
- 測定可能である**
数字で評価できる、または達成・未達成が明確
- 適用される要求事項を考慮する**
法律や顧客との約束を守っている
- 製品の適合・顧客満足に関連する**
品質アップやお客様の喜びにつながる
- 監視する**
やりっぱなしにせずチェックする
- 伝達する**
全員がその宿題を知っている
- 必要に応じて更新する**
状況が変われば見直す

Source: IMSマニュアル 6.2.1

誰が宿題を決めるの？（決定プロセス）

社長の方針から、各現場の目標へ



Step 1: Top Management (3月)

前期の振り返りと、来期の課題を検討。
「全社的な年度方針」を決定。



Step 2: Department Heads

社長の方針を受けて、自分の部署でやるべき
「重点実施事項」を立案。








Step 3: Approval

最高責任者が承認して、正式な『宿題』
決定！

この流れは毎年3月（年度末）に行われます（IMSマニュアル 6.2.2）。

私たちの通信簿：「年度方針計画表」

この1枚のシートに、1年間の計画がすべて書かれています。

年度方針計画表				
実施事項	必要な資源	責任者	完了時期	結果の評価方法
				
What to do? (具体的なアクション)	Resources (人・モノ・金・時間)	Who? (誰がリーダーか)	When? (いつまでに 終わらせるか)	How to grade? (何をもって 「合格」とするか)

部署長はこれを毎月確認し、進捗を管理します。

宿題を出すための「道具」は足りているか？

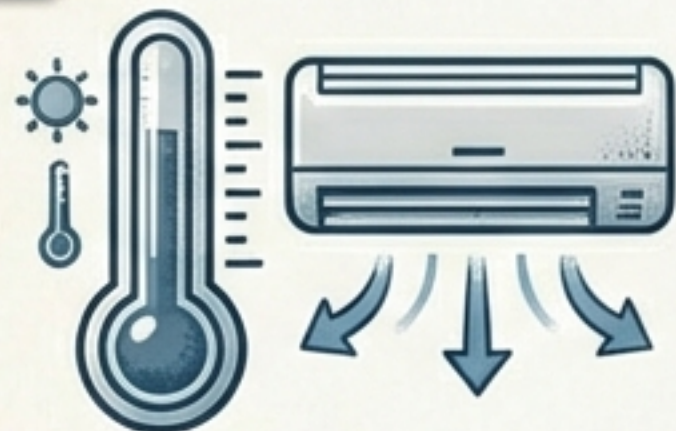
計画には「必要な資源（リソース）」の確保も含まれます。



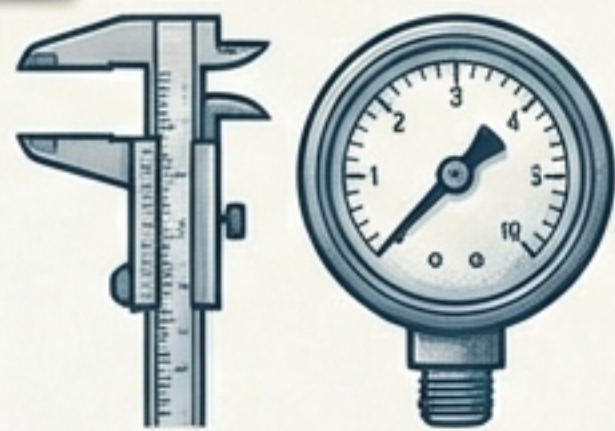
人々 (People)
必要なスキルを
持った人員。



インフラ (Infrastructure)
設備、建物、
ユーティリティ。



環境 (Environment)
作業しやすい環境。

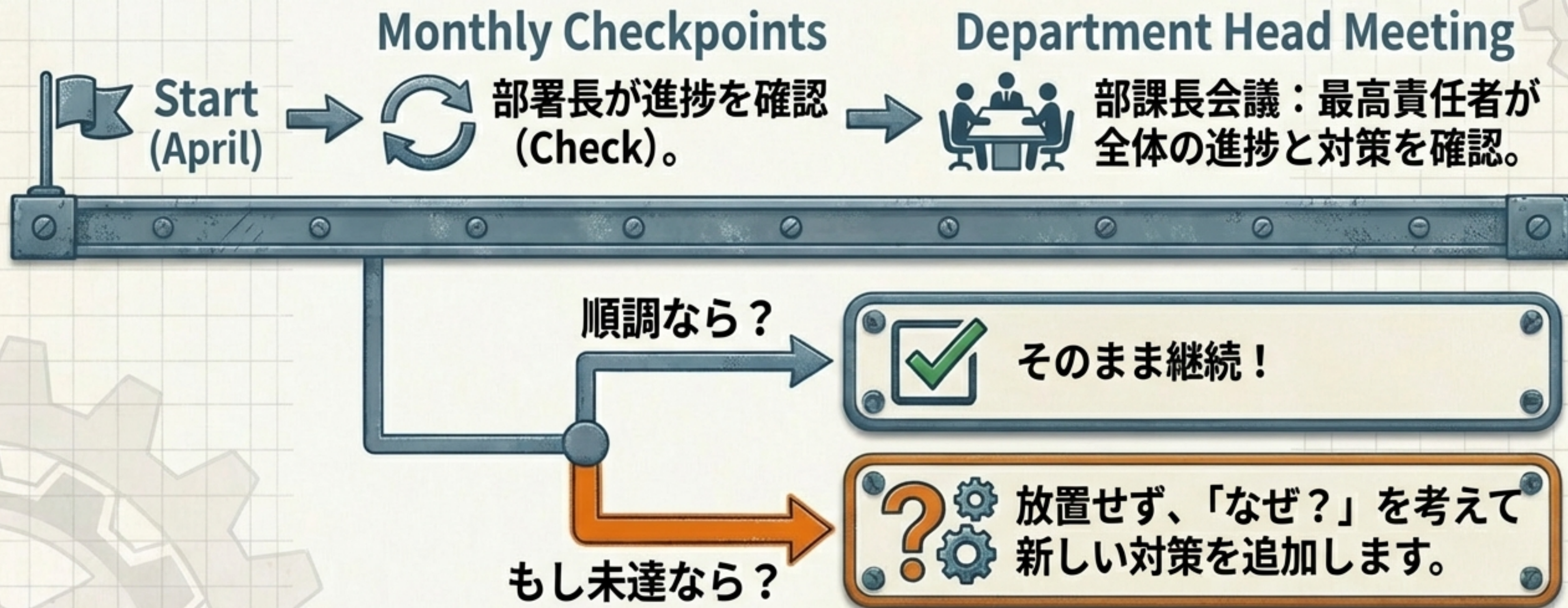


監視測定機器
(Monitoring Resources)
正しいノギスや計器。

「気合でやれ」はISOではありません。目標達成に必要な人・モノ・金・時間を明確にし、会社がそれを提供する（7.1 資源）ことも計画の一部です。

宿題は「出しっぱなし」にしない

PDCAの「C（チェック）」の重要性



100点満点を取ることが目的ではない

豊和鍛工流・改善の心構え



目標未達は「失敗」ではありません。
「なぜ届かなかったのか？」を考え、「次はどうすればいいか」を見つけることこそが、ISOが求める『継続的改善』です。

「『なぜ?』を考えるプロセスが、会社を強くする」(事務局マネージャー)

あなたの毎日の仕事が、会社の未来を作る



社長が決めた方針も、課長が作った計画も、実行するのは現場の皆さんです。

あなたの「1つの確実な作業」が積み重なって、年度方針の「数字」が動きます。

本日のまとめ：次回の予告

- ⚙️ 年度方針＝会社の宿題：スローガンではなく、測定可能な目標にする。
- ⚙️ 計画表：実施事項・期限・責任者を明確にする。
- ⚙️ 毎月のチェック：進捗を確認し、ダメなら対策を追加する。
- ⚙️ プロセス重視：結果だけでなく、改善の過程を大切にする。

次回：第6回予告

「匠の技を次世代へ！プロとして必要な『力量』と『教育』」
目標を達成するための「腕（スキル）」をどう磨くかについて解説します。

さあ、今年の宿題と一緒にクリアしていきましょう！